

今年も目指そう 1等比率90%以上!!

稲作管理情報 第1号

平成 28 年 3 月 12 日  
 いなば 農業 技術 者 協 議 会  
 ○事務局 【JAいなば営農生産課】  
 小矢部市赤倉97 TEL67-8000  
 【西部支店】67-8200 【東部支店】67-8300  
 【南部支店】61-8900 【福岡支店】64-8600  
 ○高岡農林振興センター 26-8480

気象変動に強い稲づくりは、土づくり、健苗育成 から!

1 春の土づくり 【昨秋に土壤改良資材や堆肥の施用がされていないほ場では、春施用を行いましょ!】

◎土壤改良資材(ケイ酸・アルカリ)の施用

資材名	主な成分(%)						施用量 (kg/10a)
	ケイ酸	アルカリ	リン酸	苦土	有機	鉄	
ケイカル(粒)	28	35		4			100~
けいさん鉄	21	36		3		13	100~
ようりん(粒)	20	45	20	12			40
アサヒニューテツ	15	35	2	2		25	100~
元気	23	32	2	3	20		45~
省力ケイカル(粒)	35	35		1		1	45~

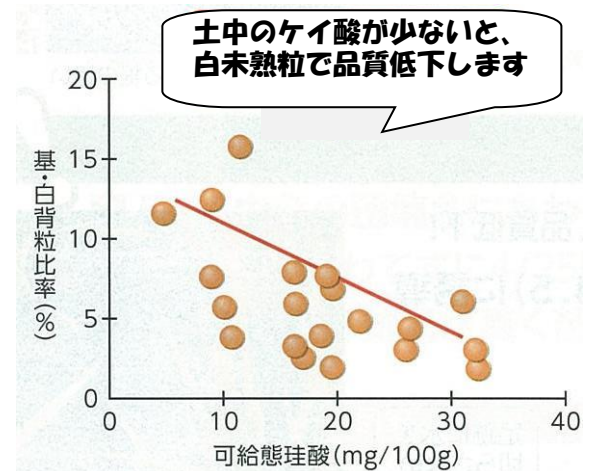


図 土壌中のケイ酸と基・背白粒

◎堆肥の施用(春散布の場合)

堆肥の種類	10aあたり施用量	10aあたり基肥減肥量(目安)
発酵鶏糞	75~100kg	窒素分で1~2kg
牛糞堆肥	1t	窒素分で1~2kg
籾殻堆肥	2t	減肥不要

※堆肥を春施用するほ場は、土質や地力を考慮し、基肥量を調整(減肥)してください。

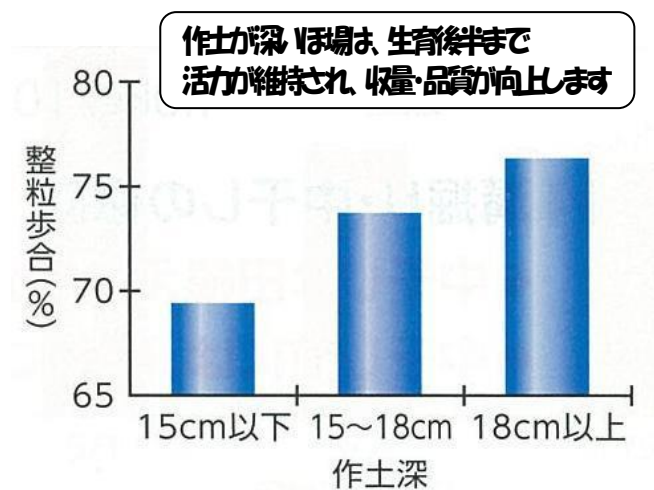


図 作土深と整粒歩合の関係

2 深耕し 【根が土中に深く張り、天候に左右されにくい稲になります】

- ・田面がよく乾いている状態で、なるべく早い時期に耕起を行いましょ。
- ・秋耕と春耕の2回掛けをして、ひこばえを土中深く埋め、田植えに支障がでないようにしましょ。
- ・トラクタの速度を落とし、ロータリーの回転数を遅くして、作土の深さを15cm以上(現状より3cm程度深くする)確保しましょ。

3 計画的な播種作業で健苗育成

①育苗日数は20日間を基本としましょ。(下表計画作成例参照)

②田植日に合わせた播種日を設定しましょ。

播種が早いと、田植えを遅らせても結局老化苗となり、出穂も早回り、遅植えの効果がありません。

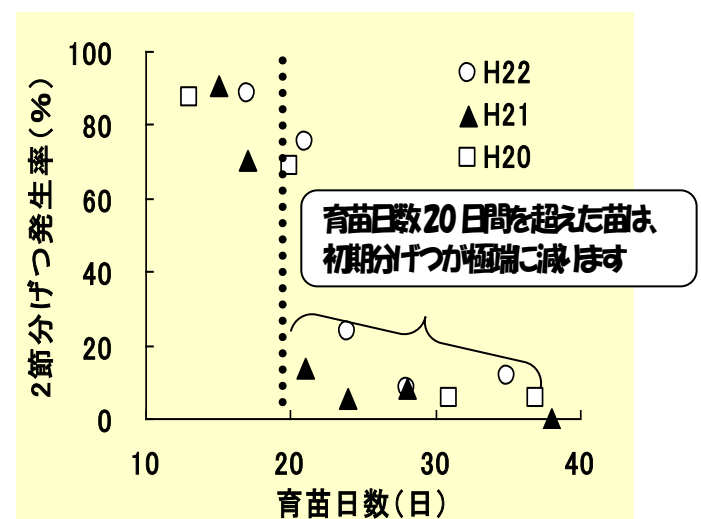


図 育苗日数と初期分げつとの関係

◎計画作成例 【コシヒカリ(平地) : 5月15日田植えの育苗計画】

4月														5月																		
13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
浸種(7~10日間程度)								タフブロック		催芽		籾干し		播種		出芽		育苗(播種日含めて20日間)														田植
・浸種水温は10~15℃を確保								種子消毒										※ハウス内の温度が30℃以上の場合、速やかに換気する。														
・浸種積算温度は100℃以上を確保																		夜間も換気を行う														

平地でのコシヒカリの田植えは5月15日を中心に設定し、浸種は4月13日頃、播種は4月25日頃を開始